

視聴覚教育

NO. 242
 発行日 10. 5. 27
 発行 岡崎市AVL
 編集 現職教育委員会
 視聴覚部

中学校パソコン

更新に感謝

現職教育視聴覚部長 牧野伊佐夫

岡崎市においては、昨年・一昨年の二年間で市内全小学校（四十二校）にパソコン教室の設置が完了した。その部屋の中には、最新鋭のパソコン各十一台とプリンターや提示用大型テレビ・VTR・教材提示装置などの充実した周辺機器。加えて低学年から高学年までの児童用ソフトや教師用のデータベース・周辺機器間利用ソフトも整えられた。

今、市内全小学校の子供たちは、このパソコン教室で、さんすうランドやキッドピクスなどのソフトを使って、マウスやキーボードを巧みに操りながら、意欲的で楽しい学習活動を展開している。

私の学校でも、二年生の生活科の授業などでは、学区の探検や野鳥の森の観察などの際、子供たちが自由にデジタルカメラを使い、写真と

視聴覚用語
 「スクリーンセーバー」
 パソコンのディスプレイの画面焼き付きを防ぐための常駐ソフト。一定時間入力がないと自動的にディスプレイ表示を消し、あるいはパターンの動画を表示する。入力があった時点でもとの画面にもどる。

文字とを組み合わせた探検カードや観察カードをパソコンで作ったり、それを提示用の大型テレビの画面に映し出しながら発表し合うなど、パソコン教室の中で、どの子にとっても楽しい授業が展開されている。

パソコンが導入された時点で、本校の先生方にお願ひしたことは、先ず教師自らがパソコンに慣れ親しみ、全ての教師がパソコン操作に習熟すること。そして、学校にあるパソコンソフトの内容を把握し、毎日の授業で有効に生かすこと。そのための校内現職教育の積極的な取り組みをすることなどであった。パソコン導入二年目の今、多少の学級差はあるが、どの学年もパソコン教室を有効に活用している。

市内中学校においては、現在、二十一台のパソコンが設置されているが、この二学期には全ての中学校に四十二台の新しいパソコンが入るとの朗報。財政事情厳しい中、市ご当局のご理解、ご努力に心より感謝したい。



視聴覚教育あれこれ

平成十年度

視聴覚部方針決定！

研究主題 個性を大切に、人間性豊かでたくましく生きる子供を育てるための視聴覚教育のあり方を追究しよう

研究の重点

- ① 視聴覚教材・機器の効果的な活用法の研究
- ② パソコンの効果的な活用法の研究
- ③ 先端メディアの活用法の研究
- ④ 自作ビデオの活用促進と学校独自の自作視聴覚教材の制作
- ⑤ 視聴覚教室やパソコン教室の総合的な管理・運営方法の工夫
- ⑥ 校内放送の充実と管理・運営方法の工夫

高度情報通信社会を迎え、時代に対応する子供たちをどう育てるかが問われている。先端メディア活用の基礎的な資質や能力をいかに育成していくかを追究していくのと同時に、従来から存在する様々なメディアを再認識し、多様な活用を図っていく必要がある。

このような基本的な考え方に立って実践研究を深めていきたい。



平成十年度

視聴覚部組織

■組織

部長

牧野伊佐夫(竜美丘小長)

二村 邦彦(矢作中長)

石原 博文(城南小長)

担当指導主事

山田 賛平(教育委員会指導課)

視聴覚指導員

内田 義和(羽根小)

世話係

萩原 寛(上地小) 内藤 法雄(大門小)

八田 敏公(美川中) 名倉 嘉章(竜海中)

各部世話係

本間 茂夫(山中小) 吉田 章二(南中)

脇田 琢己(小豆坂小) 溝口 了実(新香山中)

島田 繁直(竜美丘小)

中根 浩智(北中)

■ライブラリー職員

副所長

倉橋 勲

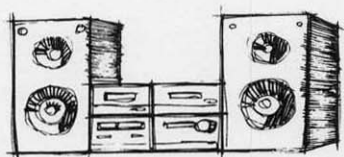
職員

中根 則夫

山内 薫

小林ますみ

森田 結子



■視聴覚部 各部会の主な活動

広報部会・月報「視聴覚教育」の発行

研究誌「岡崎の視聴覚教育」の発行

研修部会・VTR実技講習会の実施

・校内放送講習会の実施

・主任研修会の実施

自作部会・社会科、理科、英語科、社会教育の

自作ビデオ制作

教科部会・資料映像づくり

・「視聴覚教材・機器利用の手引き」の編集

Ⅱレッツ・トライⅡ

・三教研自作教材研究会

8月6日 岡崎市

・愛知県放送教育特別研究会

(東海北陸地区放送教育特別研究会)

8月21日 名古屋

・第34回教育の近代化展

8月26・27日 東京都

・視聴覚教育総合全国大会

8月27・28日 東京都

・放送教育研究会全国大会

11月19・20日 東京都

各種大会・研究会への参加

※本年度も、多くの大会・研究会が予定されています。ぜひ、ご参加ください。

ライブラリーだより

☆人事異動

今回の人事異動で、副所長の村松慎一が社会学芸課担当課長(地域文化広場副館長)へ異動し、新たに副所長として倉橋勲が業務に当たります。よろしくお願いたします。

☆教材等の配達・回収サービス

16ミリ映画、ビデオ教材など、各種教材等の配達・回収サービスをしています。毎週火曜日配達、翌週の月曜日に回収します。なお、必ず電話で予約してください。

☆ビデオ教材のダビング

ライブラリー等で制作した自作ビデオ作品やビデオ映像ラッシュ、行事記録のダビングを行っています。ビデオテープの背に番組名と所属名を記入して送ってください。原則として、一番組一本のテープでお願いします。

☆「視聴覚機器・教材目録」の追録について

先日、追録をお送りしました。お手持ちの目録の該当ページに必ず貼っておいてください。

☆新規購入機器の紹介

デジタルプロジェクトー

UP1800

従来の液晶ビデオプロジェクトーに比べ、小型、軽量になっています。また、明るさ、解像度も数段アップして、パソコン対応にもなっています。

